

Q&A: 責任投資とESGの統合

環境、社会、ガバナンス (ESG) 投資の理解

責任投資 (RI) の世界は過去数年間でめざましい発展を遂げ、この結果、RIが投資家や企業にとって何を意味するか、そしてこれがポートフォリオ全体にどのように組み込まれているかについて、数々の疑問が投げかけられています。当社は本書にて、最もよく聞かれる質問にお答えし、RIがアクサ・インベストメント・マネージャーズでどのように適用されているかについて見ていきます。



基本に戻る： 責任投資とESGの統合

ページ 4 & 5

責任投資をどのように定義しますか？

ESGの統合は価値の創生にどのように役立ちますか？

社会的に責任のある投資とESGの統合は異なるものですか？

ESGの統合における課題とは？

インパクト投資とは？

国際連合の持続可能な開発目標は投資家にとって意義がありますか？

ページ 6 & 7

アクサ・インベストメント・マネージャーズにおけるESG

ページ 8 – 17

アクサ・インベストメント・マネージャーズにおける プラットフォームレベルのESG

基本に戻る： 責任投資とESGの統合



Q&A 文書の最初の項では、責任投資についてよくある質問にお答えし、それがなぜ重要なのかをご説明します。さらにESG統合の課題と機会を評価し、国際連合の持続可能な開発目標が投資家にとってどのような意義をもつかを見ていきます。

責任投資の定義をどのように定義しますか？

責任投資 (RI) とは環境、社会、ガバナンス (ESG) の要因をアプローチに組み入れた投資プロセスを指します。RIによってお客様は、投資環境を変えている世界のメガトレンドに投資内容を適合させることができます。厳しくなる法規制、リスク緩和への高まるニーズ、向上した社会的良心などの問題は、ESG要因を投資プロセスに統合することで、より効果的に対処することが可能になります。

ESGの統合は価値の創生にどのように役立ちますか？

企業はESGにより世界経済および、私たちが暮らし、働いているコミュニティに意義ある変化を作り上げることができます。ESG分析は世界の課題に対処し、お客様に持続可能な価値を生み出す、より効果的な投資ソリューションにつながると当社では考えます。

社会的に責任のある投資とESGの統合は異なるものですか？

ESGとは投資に対し、そのパフォーマンスに重大な影響を与える環境、社会、ガバナンスの慣行を指します。ESG要因の統合は、技術的評価を超えて潜在的なリスクや機会を特定することにより、従来の金融分析を向上させるのに使用されます。ESG統合の主な目標はあくまで財務パフォーマンスです。

社会的に責任ある投資（SRI）は特定の社会的/持続可能な指針に従って投資を積極的に除外または選択することで、ESGよりもさらに一歩進んでいます。根底にある動機には宗教、個人的価値観、または政治理念があるかも知れません。SRI戦略では、戦略目標の形成および/または投資対象全体に取捨のスクリーンをかける目的でESG要因を使います。

責任投資は比較的新しい分野であり、広く認識された精密な基準、指針、定義が十分にありません。責任投資とはこれまでのところ、投資プロセスにESG基準を統合する広範囲のアプローチを指す総称と理解されています。責任投資には様々な形態があり、投資リスクを特定・緩和するのに役立つべきものです。

ESGの統合における課題とは？

ここ数年でESGの統合は急速に発展しましたが、依然として複数の課題があります。データの質と開示に対する基準、用語、格付けの規定は今なお難題であり、国際基準がない状況では、投資家は様々な企業によるESGのオファー内容の比較が難しいと感じる可能性があります。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ（アクサIM）では、データの3つの側面「正確」、「前向き」、「標準化」に焦点を当てます（標準化により集計が容易で、あらゆるステークホルダーに伝達できます）。

当社ではESGデータ・フレームワークが必ず、投資エキスパートおよび当社のリスク管理部門による承認を得るようにしています。構造的な変化をもたらすには、ESG指標をコア指数や会計基準に組み入れ、レポートをより標準化することで比較を容易にする必要があります。規制当局は企業がESG問題に関する報告を行うよう奨励し、さらなる取り組みを可能にし、ESGデータをより定量化し、一般市民が投資決定を行う際にESGを考慮することの重要性を啓発する上で、一役買わなくてはなりません。

インパクト投資とは？

インパクト投資は、社会に対し意図的で前向き、かつ測定可能な影響を与えるよう策定された事業やプロジェクトに融資しながら、同時に経済的リターン達成に注目します。インパクト投資は社会が直面している「現実の問題」の解決に向けて資金の力を利用し、「さらに大きな有用性」に向けて資金の力を導きます。

国際連合の持続可能な開発目標は投資家にとって意義がありますか？

国際連合（国連）は持続可能な開発目標（SDGs）を創設することで、その意欲的な目標に投資業界が貢献するよう行動を呼びかけました。国連は資金の流れを円滑に誘導し、持続可能性を促進するイニシアチブに向けた戦略を導く新しい融資モデルを開発する上で、金融業界が極めて重要な役割を果たすことを認識しています。SDGsは多くの主要な世界的投資機関や企業の支持を受けてきましたが、その希薄化の潜在性に関するリスクもあります。この希薄化のリスクは、目標に対する投資の貢献度が、測定できる形で証明されることなく、投資家がSDGsを投資に関連付ける際に起こる可能性があります。

国連のSDGsは世界で最も差し迫っている持続可能性問題を明確にし、投資家が持続可能な経済や市場に投資することで、持続可能性のトレンドを把握し財務パフォーマンスのポテンシャルを見極めるのを支援することができます。長期的にはSDGsは、私たちの環境を損ねたり社会に不当な負担を課することなしに、経済成長の実現を目指すものです。

ESGはアクサ・インベストメント・マネージャーズでどのように進化してきましたか？

責任投資は当社のDNAの一部をなしています。この項では当社がどのようにESGアプローチとオファー内容を開発してきたか、どのようにそれを実施しているか、そしてアクサグループが当社のアプローチに及ぼす影響を見ていきます

アクサIMでは何をESGリスクとして特定しましたか？そしてこれがアクサIMのポートフォリオにとって何を意味しますか？

当社では責任ある投資家として、お客様に代わって投資を行う際、ESGのリスクと機会を管理したいと考えています。このため、決められた基準値を超えると投資を行わないセクターを設けています。議論を呼んでいる武器類、パーム油、ソフトコモディティ、石炭に関する部門除外は、全てのアセットクラスに渡って適用されます。

当社ではこれを超えて、責任投資(RI)およびESGを統合したオープン型ファンドに適用されるESG基準を開発しました。これは機関投資家のお客様に、事前許可ベースでご利用いただけます。アクサIMのESG基準はまた、ESGを考慮した企業分析とスコア評価、テーマ別のエンゲージメントおよび議決権行使も含みます。

これらの基準は、当社が物議を醸す論争やESGクオリティの低い企業も考慮しながら、ESGリスクを管理し、気候変動や健康、社会資本といった重要問題に注目する上で役立ちます。これらのESG基準を理由に、次のセクターや分野が当社のRIおよびESG統合ファンドから除外されます。

- 石炭およびタールサンド製造者
- たばこ
- 防衛
- 国際連合グローバル・コンパクト(UNGC)原則に大きく違反する企業
- ESGクオリティの低い企業

除外事項および当社のESG基準に関する詳細は、アクサIMのESG基準方針(axa-im.com上に掲載の“**AXAIM ESG Policy**”)をお読みください。

ESG統合に対するアクサIMのアプローチとは？

アクサIMのポートフォリオ・マネージャーや財務アナリストは、分析にESGのリスクと機会が組み込まれることを確実にするため、情報を提供されます。情報には以下が含まれます。

- **ESGスコア**：RIチームが開発・管理し、当社独自の方式を用いて年に2回算出されます。
- **社内調査**：運用チーム内のESGアナリストは、企業分析においてポートフォリオ・マネージャーや財務アナリストをサポートできます。
- **社内外のESG調査**：社内のESG調査は気候変動、人的資本、健康に焦点を置きます。また調査にあたっては社内での分析に加え、ブローカーの調査、企業との定期的な会合、業界イベントやカンファレンスへの参加によって収集した情報も活用します。RIチームはまた、物議を醸す問題に関する分析、社内研修、見解も提供します。

アクサIMではESGをどのように開発していますか？

アクサIMでは20年にわたるRIの経験を活かし、当社のすべての運用プラットフォームにESG分析を統合しています。ポートフォリオ・マネージャーには、フロントオフィスのツール内で当社独自のESGスコアおよび重要業績評価指標(KPI)へのアクセスだけでなく、補足的なデータや調査結果を提供しています。

アクサIM RIチームはテーマ別の調査、コーポレートガバナンス、エンゲージメントを中心に行いながら、定量的ソリューションの開発も担っています。マット・クリステンセン(Matt Christensen)率いるチームは10名のRIアナリストを含む14名の経験豊かなプロフェッショナルからなり、チーム平均の経験年数は13年¹⁾に上ります。

プラットフォームのレベルでは:

- ・ローゼンバーグ株式はキャサリン・マクドナルド(Kathryn McDonald)率いる、5名のESGスペシャリストを含む専門の ESG チームを擁します。
- ・フラムリントン株式はESG調査を専門とする3名のスペシャリストによるチームを擁し、日常ベースでポートフォリオ・マネージャーの企業分析を補佐します。
- ・債券チームおよびハイイールド社債チームはクレジット分析チームを強化し、各々が発行体分析にESG要因を組み入れるよう研修を受けてきました。
- ・アクサIMリアル・アセットは、プラットフォームの活動に持続可能性の要因を含めるための指導と監督を専門に行うエキスパートを擁します。
- ・当社のマルチアセットチームは、株式および債券を通してESGを統合するために、これら2つの主要軸のプラットフォームと密接に協力しています。[詳細は15ページをお読みください。](#)

アクサIMのESGおよびSDGs関連オファーには何が含まれますか？

当社ではオファー内容を3つのレベルに分類しています:

ESG エンベディッド(組み入れ) - 当社の全ファンド(インデックス型およびファンド・オブ・ヘッジファンズを除く)に社内の責任投資方針、積極的な関与、委任投票が適用されます。さらに、アクサIMの全ファンドのファクトシートがESGスコアとカーボン・フットプリントを表示²し、全ポートフォリオに石炭、パーム油、論議を呼んでいる武器類、ソフトコモディティを含むアクサIMのRI部門別方針が適用されます。

ESG 統合 - 当社の全運用プラットフォームを通してESG分析が統合されていることで、運用チームはお客様の目標に合わせた投資の意思決定を行う際、ESGのリスクと機会を考慮に入れることができます。ESGを統合した投資信託もまた当社のESG基準方針を適用し、石炭・タールサンド製造者、たばこ、防衛、国際連合グローバルコンパクト(UNGC)違反社、ESGクオリティの低い企業に対する除外を設けています。これらの戦略の報告書³にはESGのKPI指標が含まれています。

サステナブル投資 - これにはESG適格企業およびインパクト投資対象内の企業が含まれます。インパクト投資はESGのリスク・モニタリングを超えて、社会に対し意図的かつポジティブ、そして測定可能な影響を与えるよう策定された事業やプロジェクトに融資しながら、同時に経済的リターンを得ることに注目します。

アクサ IM で使用しているスコア評価の方式とは？

アクサIMにおける企業スコア評価方式は、RIチームが開発・管理を担っています。当社ではESG調査プロバイダーから入手した未処理のESG企業/国データを使用し、当社の定量的スコア評価システムの対象は7,200社および100カ国以上を網羅しております⁴。専門の格付け機関による未処理の定量的データ(気候変動、リソース&エコシステム、人的資本、役員会の監視および管理などを含む)を集計し、各企業/国に0~10までのスコアを付けます。ポートフォリオ・マネージャーはその後、各企業の個別スコアにアクセスし、投資の意思決定に役立てております。

上記に加え、投資プロフェッショナルは分析ツールを利用し、発行体のスコアおよび履歴、議決権行使/年次総会の結果、炭素排出率を確認できるようになっています。

ソブリン債の発行体に関しては、定評のある国際的情報源が発行したESG指標に基づいて判断します。当社では国々を「成熟」および「発展途上」の2グループに分けています。これらの2グループで、国々の社会的・経済的発展レベルを考慮し、特定の指標を利用します。

さらには、商業用不動産ローン、インフラストラクチャーおよびレバレッジドローンなど、一部のオルタナティブ資産に対して、当社独自のスコア評価方式を導入しています。

アクサグループはアクサIMのESGアプローチにどのような影響を及ぼしますか？

アクサグループは過去20年間、責任投資へのコミットメントを定期的に表明しておりますが、ESG要因が資産クラス、セクター、企業、地域を問わずポートフォリオのリスク・リターンに影響する可能性があるという信念があるからです。

アクサIMは長年にわたり、親会社と密接に協力してきました。ESGスコア評価の開発や、意欲的な気候戦略の策定と実施など、アクサグループのRI戦略の実践に中核的な役割を果たしています。

アクサIMはRI戦略とロードマップに関してアクサグループと密接な協力関係にあり、協働で得られた経験を活かしています。

1. 2018年6月30日現在のアクサIM
2. 2019年第1四半期開始
3. ご請求により入手可能
4. 2018年6月30日現在のアクサIM



アクサ・インベストメント・ マネージャーズの プラットフォームのレベルで ESGは何を意味しますか？

この項ではESGがどのように導入され、4つの資産クラス
(債券、マルチアセット、フラムリントン株式、ローゼンバーグ株式)
全般でどのように進展してきたかを見ていきます。

各々の資産クラスに関し、次の5つの質問にお答えします：

- 1/ プラットフォームにおけるESG統合のプロセスとは？
- 2/ ESGはプラットフォームでどのように発展してきましたか？
- 3/ プラットフォームにおけるどの戦略がESGを統合しており、
完全な統合に向けたどのような計画がありますか？
- 4/ プラットフォームのオファー内容にはインパクト戦略が含まれますか？
- 5/ 国連の持続可能な開発目標はプラットフォームのレベルで何を意味しますか？



責任投資と 債券

アクサIMにおける 責任投資と債券

この項では当社の債券分野にESGがどのように導入され、それがプラットフォームでどのように発展してきたかを見ていきます。

1/ プラットフォームにおけるESG統合のプロセスとは？

アクサIMでは幅広い債券分野全般で、当社独自のESGスコア評価を活用しています。ESGスコアはポートフォリオ・マネージャーが日常使用している当社のポートフォリオ管理ツールに直接送られ、これによりポートフォリオ・マネージャーはESGスコア評価およびKPI指標に容易にアクセスできます。当社ではESGダッシュボードおよびレポートを開発し、マネージャーがポートフォリオのフットプリントを測定できるようにしました。お客様に投資プロセスに対する高い水準の透明性を提供する上で、詳細なレポートがカギを握っていると考えています。

当社ではESG要因をクレジット分析調査フレームワークに統合しています。企業がどのようにESGのリスクを緩和し、自社のセクターで競争上の地位を高めるために、これらの基準をどのように活用しているかをポートフォリオ・マネージャーが評価するのに役立てることが目的です。ESG要因はまた、ポートフォリオ・エンジニアにより、定期的なリスクモニタリングにも統合されています。

責任投資チームはESGの検討事項について、債券チームに定期的な研修を行い、当社の戦略的コミットメントが運用プロセスでESGを主流にするべく、強力なガバナンスを確保しています。プラットフォームのレベルで専門のESGエキスパートが、投資プロセスへの効果的な統合に寄与しています。

2/ ESGはプラットフォームでどのように発展してきましたか？

アクサIMでは責任投資が当社のDNAの一部であり、債券分野でもESGを徐々に投資プロセスに統合してきました。初めは、お客様の要望によるマンドートから始まり、現在では当社のコア投資プロセスへのESG要因の完全な統合を開発中です。ESGは2002年6月以来当社の戦略に統合されており、当社ではそれ以降、投資プロセスへのESG統合を常に進めてきました。現在はインパクト投資に向けて発展させています。

3/ プラットフォームにおけるどの戦略がESGを統合しており、完全なESG統合に向けたどのような計画がありますか？

以下の戦略がESGを統合しており、2019年末までにはすべてのコア債券戦略にESGを完全に統合にすることが目標です。

- ・欧州IG社債バイ&メインテイン戦略
- ・英IG社債バイ&メインテイン戦略
- ・グローバルIG社債バイ&メインテイン戦略
- ・グローバル・サステナブル・アグリゲート 債券戦略
- ・欧州IG社債サステナブル戦略
- ・欧州インフレーション債券戦略
- ・グローバル・インフレーション債券戦略(リデックス)
- ・グローバル・インフレーション債券戦略
- ・グローバル・インフレーション債券短期戦略

4/ プラットフォームのオファー内容にはインパクト戦略が含まれますか？

債券プラットフォームには現在、ひとつのインパクト戦略があります。グローバル・グリーン・ボンド戦略です。ポートフォリオ・マネージャーは低炭素経済のファイナンスに注目した、分散されたポートフォリオの構築を目指し、債券の資金用途、償還、通貨、コベナンツを考慮することで、他の標準的債券と比較したリスク・リターンのプロフィールを評価します。

5/ 国連の持続可能な開発目標はプラットフォームのレベルで何を意味しますか？

当社の債券投資プラットフォームはRIチームと提携し、戦略を国連のSDGsに適合させるための取り組みを行っています。当社のインパクト戦略「グローバル・グリーン・ボンド戦略」がこのメリットを受けている理由は、戦略に組み込まれたすべてのグリーンプロジェクトが、妥当な価格のクリーンエネルギーや持続可能な都市やコミュニティなど、特定のSDGsに沿って系統的に見直されるからです。

A close-up photograph of a lavender field. Two hands are visible, gently holding several lavender flower spikes. The left hand is wearing a thin, light-colored bracelet with a small, round, metallic charm. The background is a soft-focus field of many more lavender plants, creating a sense of depth. The overall color palette is dominated by the purples and blues of the lavender, with some green foliage visible at the bottom.

責任投資と フラムリントン 株式

アクサIMにおける 責任投資とフラムリントン株式

この項ではフラムリントン株式の分野でどのようにESGが導入され、それがプラットフォームでどのように発展してきたかを見ていきます。

1/ プラットフォームにおけるESG統合のプロセスとは？

フラムリントン株式では、次の3段階を通して企業評価への360°アプローチを固めています。

1.1/ 定量的 - 第1段階ではアクサIMが社内で開発したESGスコアを、当社のフロントオフィスツール、社内調査モデル、ポートフォリオ・リスクレポートに組み込みます。各企業のスコアが、各々のESG基準/下位基準に対するポジションと、このスコアが時間とともにどのように進展したかを理解する起点となります。

1.2/ 定性的 - 当社の意図は、単なる定量的なスコア評価を超え、企業がESGの課題にどのように対処しようとしているかについて、詳細で先見的な知識を得ることです。このタイプの分析は、当社が企業を訪問し、経営陣と実際に対面し、企業のESGや持続可能性の方針と慣行が、どのように同社の長期的戦略目標を裏付けているかについて、議論の上で理解することによって実現します。

1.3/ エンゲージメント - 当社はより良くより責任のある企業行動と開示の創生に寄与する、主要インフルエンサーであるという自負があります。当社の観点ではESGの統合は、長期的な責任ある投資家としての当社の信念を表現し、ポートフォリオのリターンに損害を与えかねない悪質な問題を回避するだけでなく、企業が持続可能性プロフィールと慣行の改善に向けた正しい道を歩むように経営陣を鼓舞する方法でもあります。

2/ ESGはプラットフォームでどのように発展してきましたか？

フラムリントン株式は常に、投資戦略を業界のトレンドに合わせ、企業とその経営陣、およびそのビジネスモデルの成功について深い理解を育む長期的な投資家として活動してきました。当社は1998年に、フランスの雇用を支援する欧州の中小企業に焦点を当てた最初のRIマンドートを立ち上げて以来、RIポートフォリオ運用において他社に先がけてきました。

長期的投資家として、非財務上のリスクと要因が常に当社の分析に組み込まれてきました。現在では投資の意思決定にESGの検討事項を組み込み、MiFID II (欧州の第2次金融商品市場指令) の下でESGを統合している当社戦略の数はますます増えています。フラムリントン株式内に3名のESGアナリストを配属⁵し、能動的および反応的ベースで企業のESGリスクと機会に関して展望を提供しています。

3/ プラットフォームにおけるどの戦略がESGを統合しており、完全なESG統合に向けたどのような計画がありますか？

以下の戦略にESGを統合しており、2019年末までには大半のフラムリントン株式戦略を完全にESG統合とする目標です。

- フラムリントン・グローバル・スモールキャップ株式戦略
- フラムリントン・ヨーロッパ・スモールキャップ株式戦略
- フラムリントン・タレンツ・グローバル株式戦略
- フラムリントン・イボルビング・トレンド株式戦略
- フラムリントン・ヨーロッパ株式戦略
- フラムリントン・ユーロゾーン株式戦略

4/ プラットフォームのオファー内容にはインパクト戦略が含まれますか？

当プラットフォームには現在、2つのインパクト戦略があります。ひとつはフラムリントン・ヒューマン・キャピタル株式戦略で、これは人的資本の上質な管理を行う欧州の中小企業に投資し、国連のSDGsの2つ、ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)と経済成長、および質の高い教育に焦点を当てています。当社の関与方針を通して、チームは投資先企業、特に人事チームとの継続的な対話を維持し、同社が人的資本を適正に管理していることを確認します。もう一つはフラムリントン・ウィメン・エンパワメント株式戦略であり、これはジェンダーの多様性を推進し、女性の経済的役割をフルに活用することで財務および社会的価値を生み出す企業に投資します。戦略は国連SDGsの3つ、つまりジェンダー平等、ディーセント・ワークを経済成長、不平等の削減に焦点を当てています。

5/ 国連の持続可能な開発目標はプラットフォームのレベルで何を意味しますか？

上記に挙げた当社のインパクト戦略は少なくともひとつのSDGsに明示的に適合しています。これは当社のインパクト・フレームワークの一部であり、社会的にポジティブな影響の強いテーマ、SDGsの適合、特定のKPIを通じたインパクトの成果の測定性により規定されます。

A close-up photograph of a hand gently holding a stem with small yellow flowers. The background is a soft-focus field of similar yellow flowers, creating a warm and natural atmosphere. A semi-transparent geometric shape is overlaid on the image to provide a space for text.

責任投資と マルチアセット

アクサIMにおける 責任投資とマルチアセット

この項ではマルチアセットの分野でどのようにESGが導入され、それがプラットフォームでどのように発展してきたかを見ていきます。

1/ プラットフォームにおけるESG統合のプロセスとは？

当社ではマルチアセット戦略内のESG統合を、2つの柱を介して主流化することに決定しました。

1.1/ 技術および定量的ソリューション — 当社のポートフォリオ・マネージャーは、アクサIM独自のESGスコア評価フレームワークへのアクセスを有し、意思決定に役立てます。これにより当社ではまた、大多数のポートフォリオおよびマナデートで、ESGレポートを開発することができます。

1.2/ 調査 — 当社の債券クレジット調査チーム内のアナリストは、当社のクレジットアロケーション/選定プロセスに使用される財務上の推薦事項にESG要因を統合する責任があります。当社の株式調査プラットフォームは補完的な2つの軸に基づき、企業のファンダメンタルズやESGプロフィールの包括的評価および、企業の成長見通しを狂わす可能性のある ESGリスクの財務上の影響に対する十分な理解が必ず得られるようにします。

2/ ESGはプラットフォームでどのように発展してきましたか？

アクサIMでは、責任投資が当社のDNAの一部です。プラットフォーム内では、ESGはまず2018年9月にオプティマル・インカム戦略全体で統合され、引き続き投資プロセスへのESGの統合作業を行っています。

3/ プラットフォームにおけるどの戦略がESGを統合しており、完全なESG統合に向けたどのような計画がありますか？

当社のマルチアセット戦略による運用資産残高の75%以上を占める、以下の戦略がESGを統合しており、2019年末までにはすべてのマルチアセット戦略にESGを完全に統合する目標です。

- グローバル・オプティマル・インカム戦略
- ディフェンシブ・オプティマル・インカム戦略
- オプティマル・インカム戦略

4/ プラットフォームのオファー内容にはインパクト戦略が含まれますか？

当プラットフォームには現在インパクト戦略がありませんが、2019年にインパクト戦略を立ち上げる計画です。

5/ 国連の持続可能な開発目標はプラットフォームのレベルで何を意味しますか？

プラットフォーム内のすべての戦略がESGインパクト・レポートの対称性対象となっている意味で、プラットフォームはSDGsを考慮に入れています。これはカーボン・フットプリント、水消費原単位、女性の起用率など、選択されたインパクトKPI指標のベンチマークに対する情報を提供します。開発の次の段階はSDGs要素の把握からSDGs適合にシフトすることです。

A hand is shown holding a small amount of water, with a stream of water falling into a calm lake. The background features a clear blue sky, distant mountains, and a large rock in the water. The scene is bathed in warm, golden light, suggesting sunrise or sunset. A semi-transparent white triangle is overlaid on the image, containing the text.

責任投資と ローゼンバーグ 株式

アクサIMにおける 責任投資とローゼンバーグ株式

この項ではローゼンバーグ株式の分野でどのようにESGが導入され、それがプラットフォームでどのように発展してきたかを見ていきます。

1/ プラットフォームにおけるESG統合のプロセスとは？

このプラットフォームはRIチームと強力な関係を持ち、当社の投資アプローチにより体系的に、ESGデータを直接かつ効率的にモデルに組み入れることができます。RIチームがメンテナンスを行っているコーポレート・スコア評価フレームワークに加えて、一連の社外ベンダーからのデータを利用します。データがシステムに取り込まれ、調査・分析からポートフォリオ構築・レポートまで、多数の方法でデータを使用することが出来ます。例えば従来のアルファおよびリスク測定にESGスコアとKPI目標を加えることです。私たちはこのように、ポートフォリオの位置付けや投資の実質的な運用成績を算定する際、ESGが「対話の一部」になることを保証します。したがってESG統合の際に、当社戦略の従来のリスク・リターン特性を軽視するという意図ではなく、ESGスコアが同じ銘柄2つを前にしたとき、他の検討事項が同じである限り、常にアルファの高い方を選ぶことになります。

2/ ESGはプラットフォームでどのように発展してきましたか？

ローゼンバーグ株式では、1990年代の半ばからお客様向けにSRIポートフォリオを運用してきました。これらの戦略の重点は、極めて除外的でした。2014年に初めて事実上ESGを統合したプールファンドをオーストラリアで立ち上げ、その後同じ戦略をヨーロッパ市場で立ち上げました。現在ではローゼンバーグ株式ポートフォリオのすべてにESGを統合しています。

統合しており、完全なESG統合に向けた どのような計画がありますか？

すべてのローゼンバーグ株式戦略がESGを統合しています。

4/ プラットフォームのオファー内容には インパクト戦略が含まれますか？

プロダクトの観点からは、気候変動、多様性、または国連のSDGsのような基準に沿った目標など、テーマに対してターゲットを設定したアプローチを要望するお客様に向けて「上場株式を使ったインパクト」ソリューションを考えるのにESG情報を使用できるような、革新的な方法を模索中です。2019年初期にはクリーンエネルギーとクライメートアクションSDGsに適合した「グリーン・オポチュニティー」戦略の立ち上げを予定しています。この戦略では、収益の観点でこの2つのSDGsに適合した商品/サービスを生産している企業へのエクスポージャーを目指します。さらに当社では、環境(E)面で強力な経営上の特性をもった企業を優先します。これらの強力な「E」パフォーマンス企業は、グリーンテクノロジーの製造者自体ではないながら、最終的にグリーン商品/サービスに対する需要の大半を満たすものです。

5/ 国連の持続可能な開発目標はプラットフォームの レベルで何を意味しますか？

プラットフォームのレベルでは、大半の戦略が意図的にSDGsを念頭に置いて設計されたものではない意味で、SDGs適合ではありません。すべての戦略について、ポートフォリオ原資産の収益フットプリントが国連のSDGsとどのように(プラスまたはマイナスに)適合しているかを実証できます。

責任投資およびESGの統合に対するアクサIMのアプローチに関する詳細は、www.axa-im.com/en/responsible-investing をご覧いただくか、営業担当者にお問い合わせください。

当資料は、アクサ・インベストメント・マネージャーズが作成したものです。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券その他の投資商品についての投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の内容は、作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に記載された運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

投資リスク及び費用について：

投資一任契約及び投資助言契約に基づき、主に有価証券への投資の実行又は助言を行います。当該有価証券の価格の下落により、投資元本を割り込む恐れがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動によっては投資元本を割り込む恐れがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではなく、運用の結果生じた利益及び損失はすべてお客様に帰属します。

投資一任契約及び投資助言契約にかかる報酬額およびその他費用は、お客様に委任された運用資産の額や運用戦略（方針）等によって異なりますので、その合計額を表示することはできません。また、運用資産において行う有価証券等の取引に伴う売買手数料等はお客様の負担となります。

詳しくは、弊社担当者までお問い合わせいただくか契約締結前交付書面をご覧ください。

この件に関するお問い合わせ先：アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

金融商品取引業者登録番号：関東財務局長（金商）第16号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、日本証券業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会